

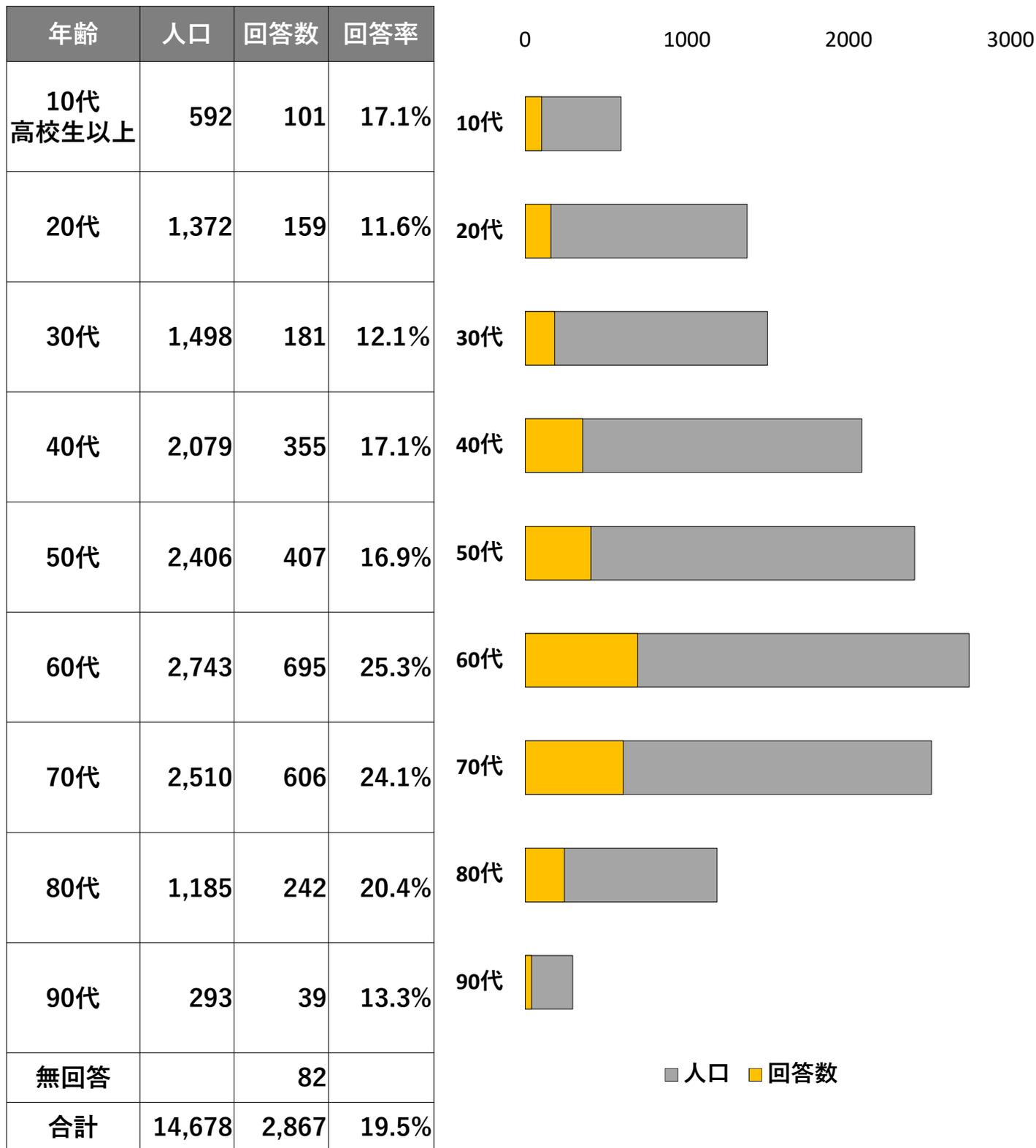
江戸崎地区公共交通に関する アンケート調査報告書

アンケート期間：R2.12.10 ～ R3.1.12

令和3年3月
稲敷市 産業振興課

年齢別の回答数・回答率

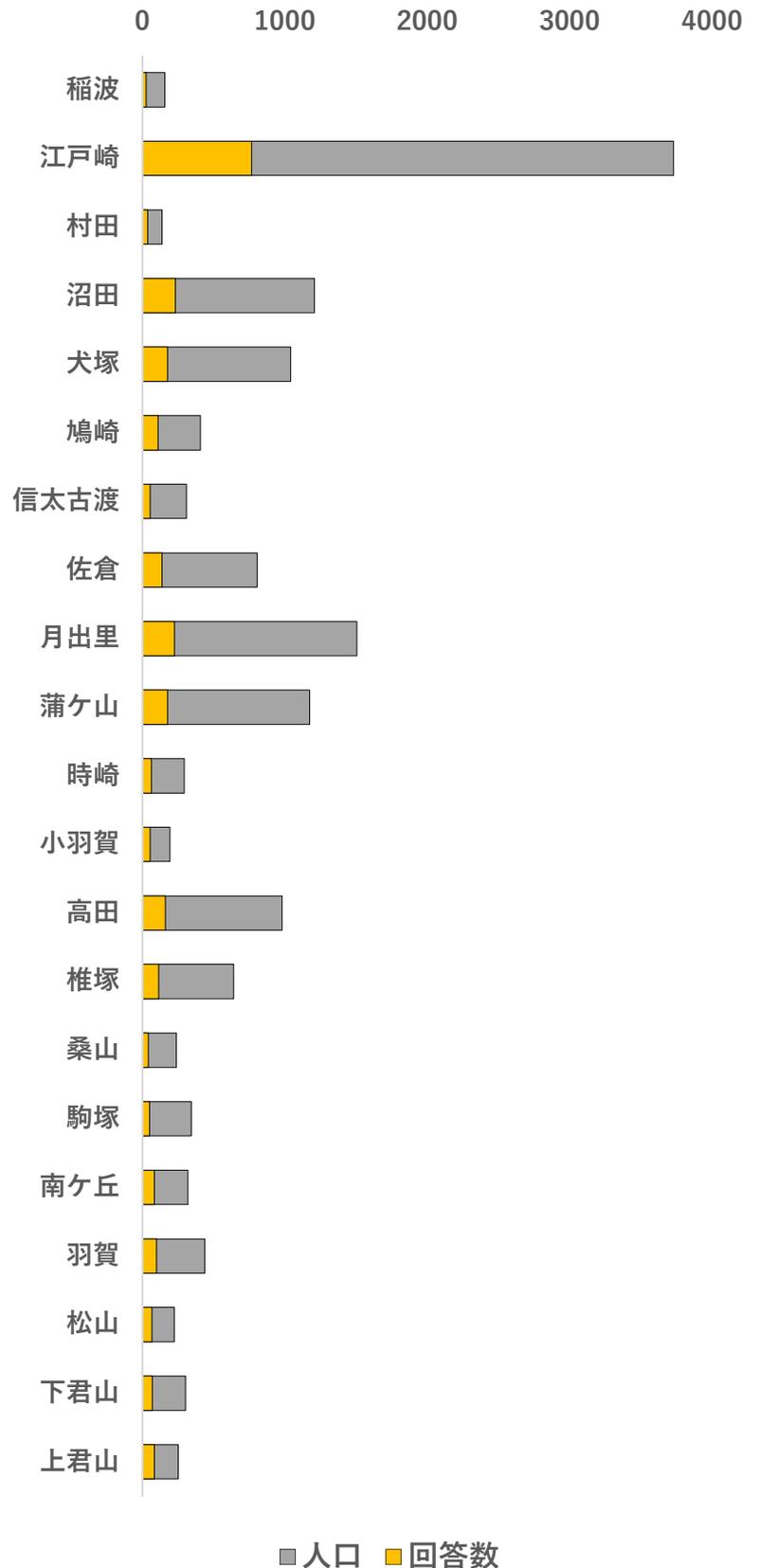
60代以上の中高年の方の回答率が高く、公共交通への関心が高いと考えられます。20～30代の比較的若い方は回答率が低い結果となりました。



地区別の回答数・回答率

地区によってばらつきがありますが、おおむね19%の回答率です。

地区	人口	回答数	回答率
稲波	155	26	16.8%
江戸崎	3,730	765	20.5%
村田	136	35	25.7%
沼田	1,208	231	19.1%
犬塚	1,041	175	16.8%
鳩崎	407	109	26.8%
信太古渡	307	52	16.9%
佐倉	804	136	16.9%
月出里	1,504	225	15.0%
蒲ヶ山	1,173	175	14.9%
時崎	292	62	21.2%
小羽賀	192	52	27.1%
高田	980	160	16.3%
椎塚	640	113	17.7%
桑山	237	41	17.3%
駒塚	342	48	14.0%
南ヶ丘	319	83	26.0%
羽賀	437	98	22.4%
松山	223	66	29.6%
下君山	302	67	22.2%
上君山	249	84	33.7%
無回答		64	
合計	14,678	2,867	19.5%



普段の移動手段

20代から70代はマイカー移動が中心となっています。

10代では15.0%の人がバスを利用しています。

家族の送迎では、10代で46.7%、80代で32.4%、90代で79.5%となっています。

- マイカー
- 自転車・バイク
- バス
- タクシー
- 介護タクシー
- 家族の送迎
- 家族以外の送迎
- その他

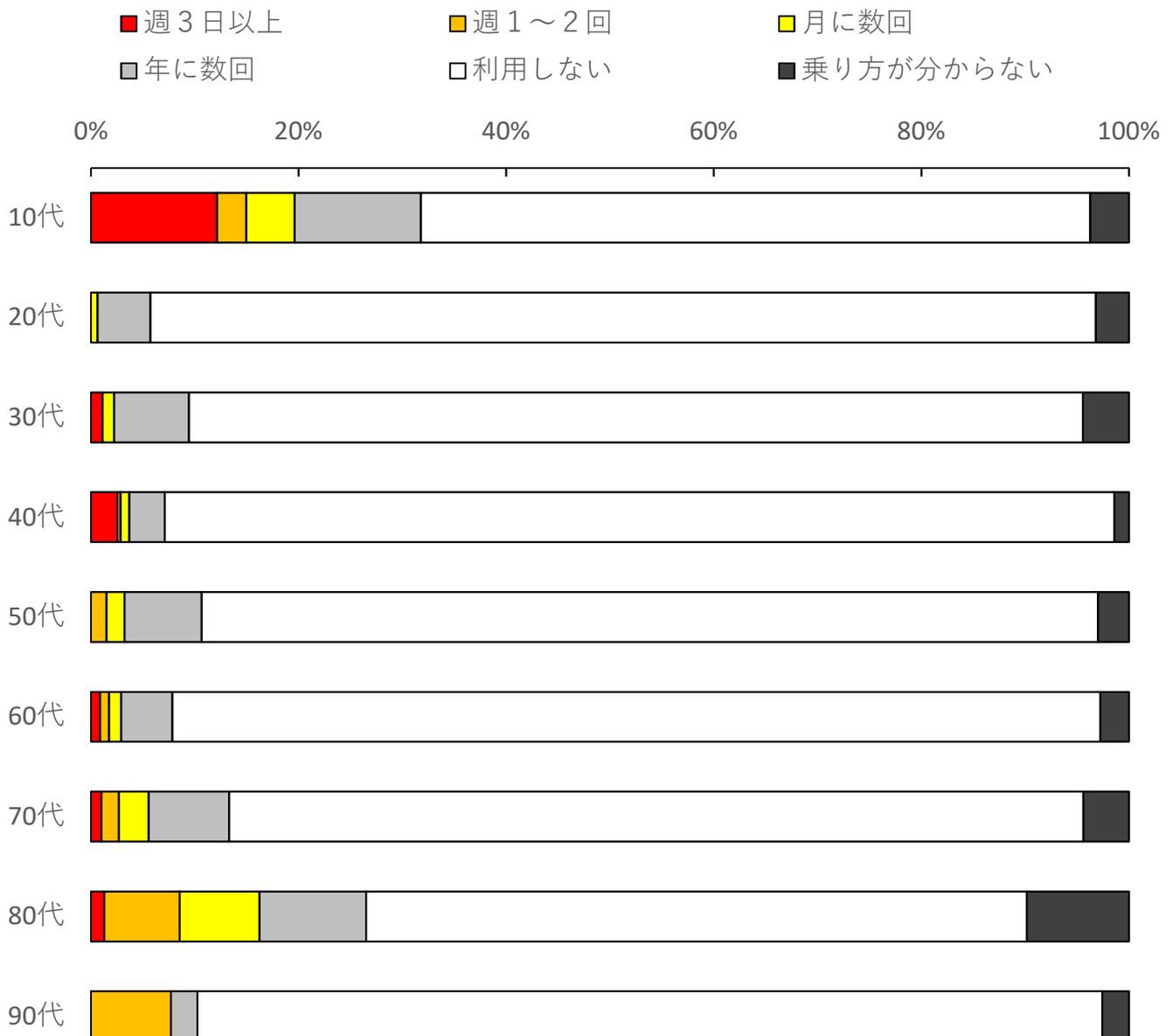


路線バスの利用頻度

多くの方が「利用しない」と回答しています。
バスを利用する人が比較的多いのは、10代と高齢者です。

高校生は、通学で毎日利用する人が多いと考えられます。

高齢者は、買い物で週1～2回、通院で月に数回利用する人が多いと考えられます。



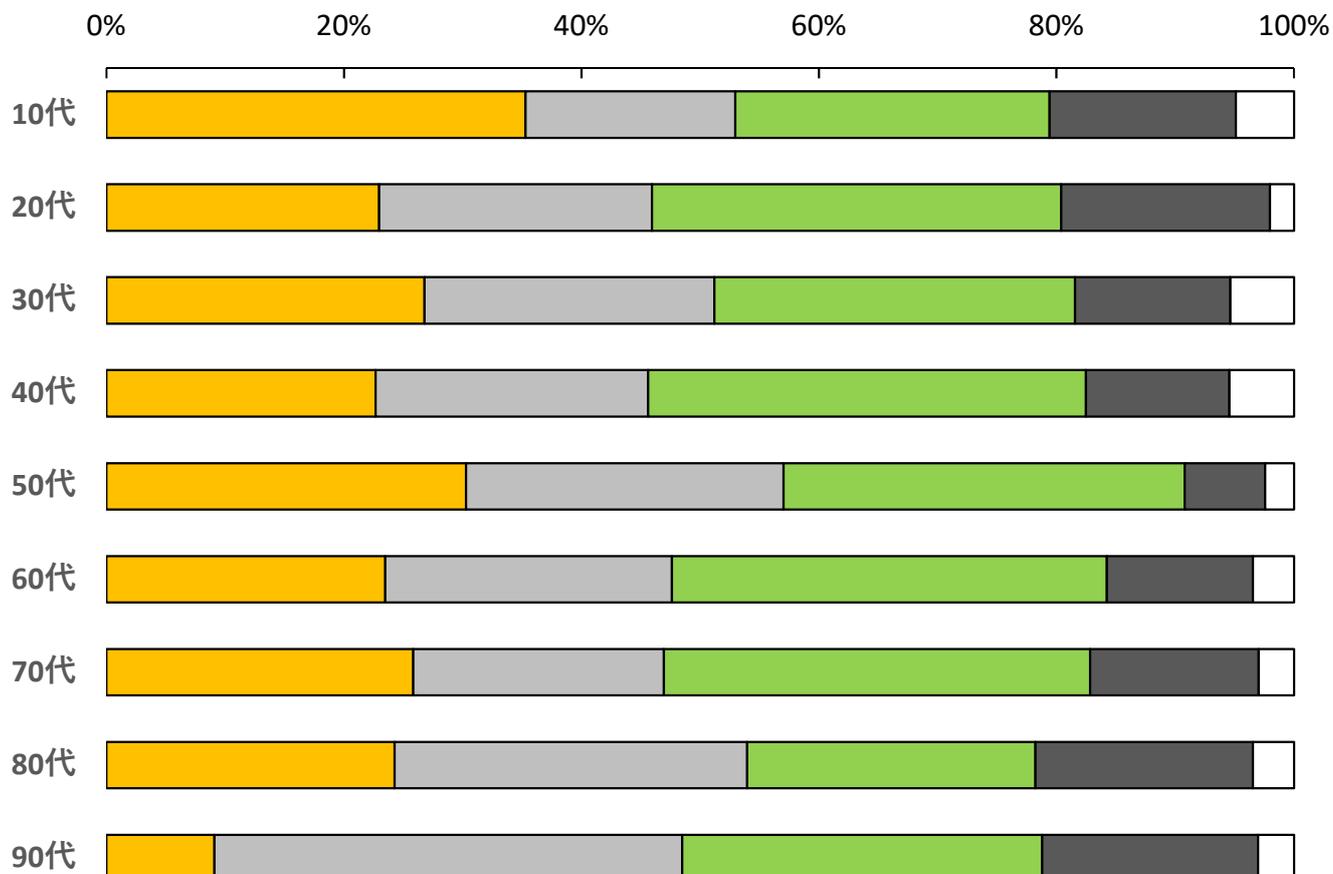
高齢者の移動手段対策として求めるもの

10代では「コミバスをもっと走らせて欲しい」が多い傾向です。

高齢者では「タクシーの充実」「福祉の充実」が多い傾向です。

免許返納をする年代になると、バスに乗ることや、バス停まで歩くことが難しくなってくると考えられます。

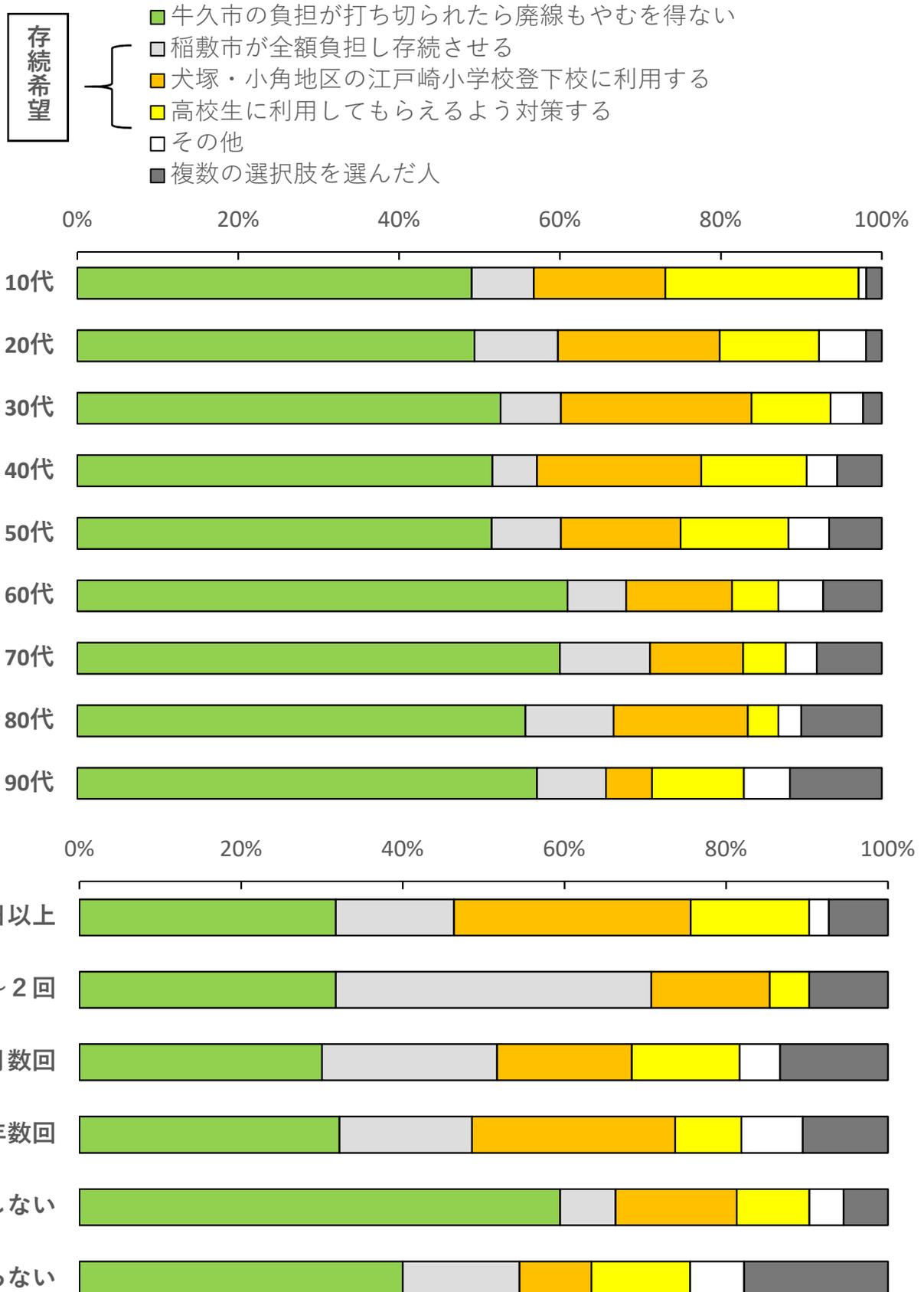
- コミバスをもっと走らせてほしい
- 高齢になってからはバスに乗れないのでタクシーを充実させてほしい
- 福祉事業で買い物や通院の支援を充実させてほしい
- 家族や地域で助け合えば、税金を使わずに済む
- その他



稲敷エリア広域バス(牛久方面)の存続について

年齢別にみると、どの年代も「廃線もやむを得ない」の回答が多く
 になっており、次いで「小学校の通学に活用する」の回答が比較的多い
 傾向となりました。

一方、バスの利用頻度ごとにみると、**普段から利用している人は、
 廃止を望まない**ことがわかります。

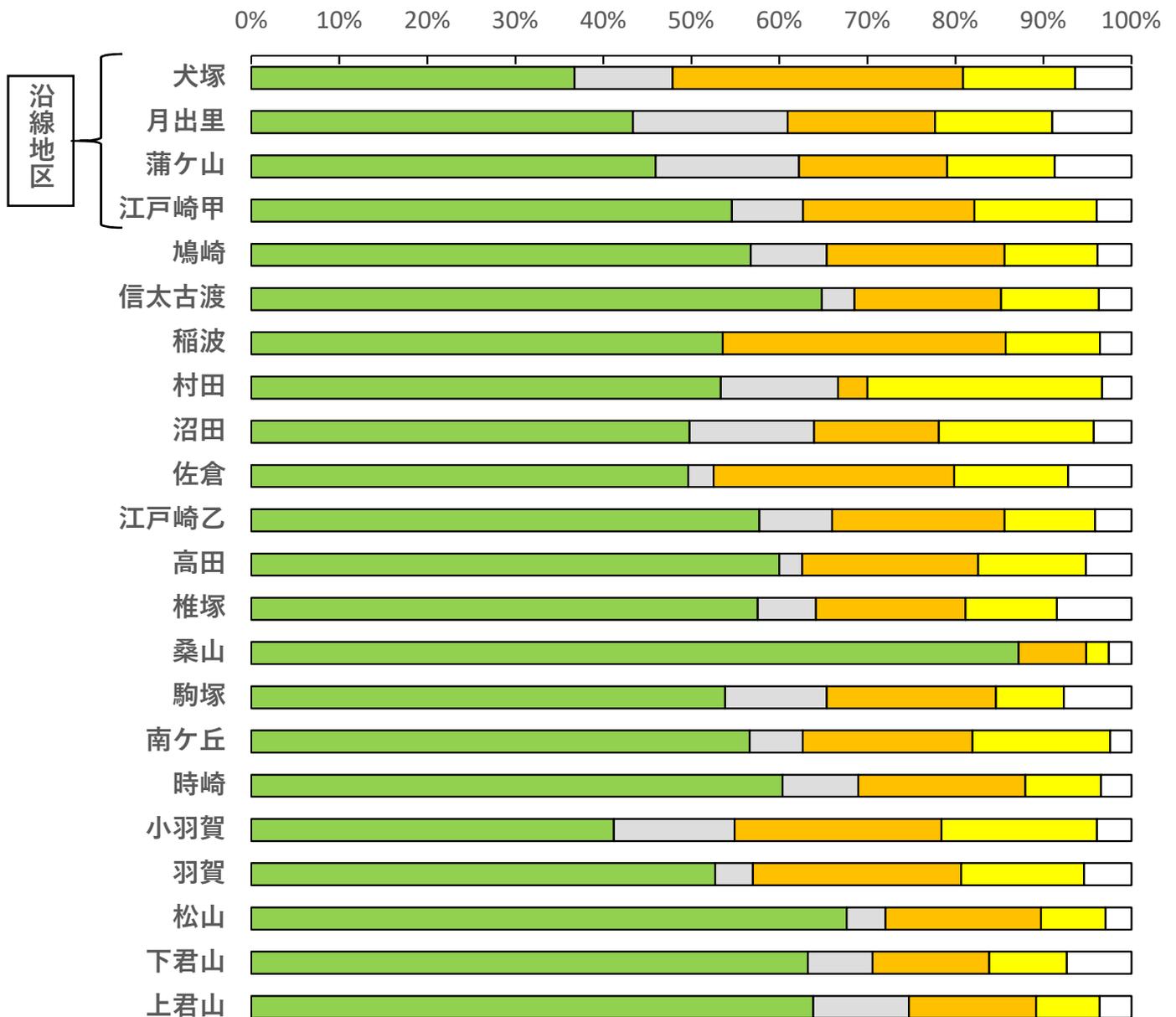


乗り方が分からない

稲敷エリア広域バス(牛久方面)の存続について

地区別にみると、考えにばらつきがある事がわかります。
 稲敷エリア広域バスの路線沿線の地区では、存続を希望する意見が多い傾向にあることがわかります。

- 牛久市の負担が打ち切られたら廃線もやむを得ない
- 存続希望
- 稲敷市が全額負担し存続させる
 - 犬塚・小角地区の江戸崎小学校登下校に利用する
 - 高校生に利用してもらえるよう対策する
 - その他



バスが必要な行き先（目的別）

バスが必要な行き先は多い順に、以下のとおりです。

- ① 江戸崎 ② 龍ヶ崎・河内 ③ 土浦 ④ 牛久

ただし、同じ方面である、「土浦」と「美浦・阿見」を合計すると年15,748回で、2番目に多い目的地となります。

目的別では多い順に、以下のとおりです。

- ① 買物 ② 通学 ③ 通勤 ④ 通院

年2000回以上
(1日4人以上)

年1000回以上
(1日2人以上)

年500回以上
(1日1人以上)

		目的						
		通勤	通学	買物	通院	趣味	その他	合計
行き先	江戸崎	5,582	2,683	24,644	4,871	247	789	38,816
	新利根	516	0	1,608	118	0	24	2,266
	桜川	0	0	0	48	0	0	48
	東	516	0	0	0	24	0	540
	土浦	10	5,986	1,014	1,302	354	16	8,682
	美浦・阿見	1,548	516	890	3,989	123	0	7,066
	牛久	1,455	2,580	2,162	964	440	421	8,021
	龍ヶ崎・河内	1,961	3,096	3,238	1,280	999	0	10,574
	つくば	929	619	898	590	278	0	3,314
	その他	1,961	619	206	368	556	603	4,314
	合計	14,478	16,099	34,660	13,530	3,022	1,853	83,640

具体的な目的地（主要回答のみ抜粋）

江戸崎： パンプ（カスミ）、タイヨー、高校、病院

龍ヶ崎： 済生会病院、駅（龍ヶ崎駅、龍ヶ崎市駅）、たつこのモール、龍ヶ崎一高

土浦・美浦・阿見： 土浦駅、阿見医大、美浦中央病院

牛久： ひたち野うしく駅

バスが必要な行き先（地区別）

地区ごとに公共交通のニーズを集計し、色分けしました。
次ページに地図上でわかりやすく表しました。

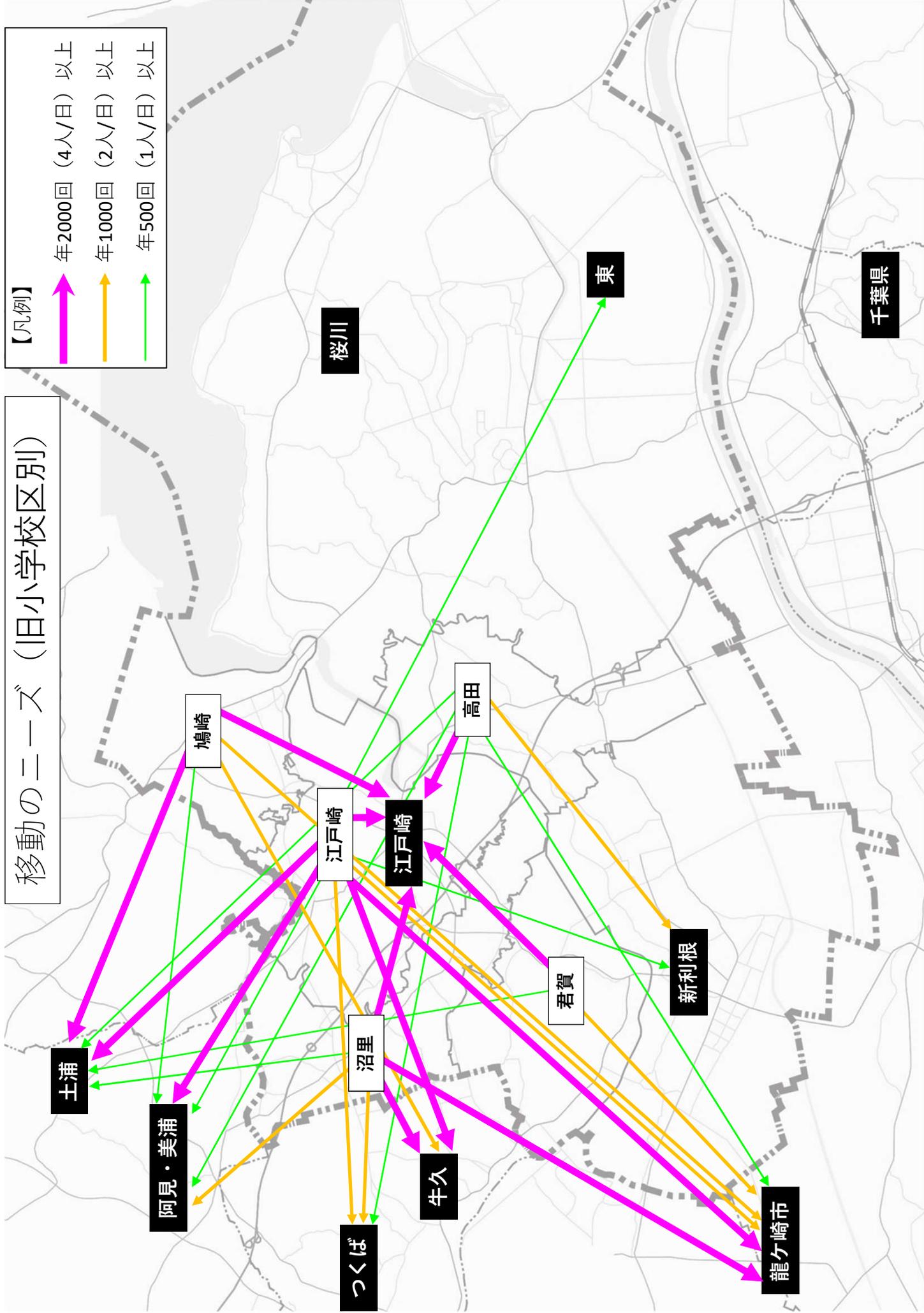
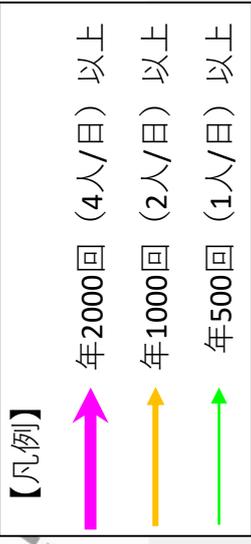
年2000回以上
(1日4人以上)

年1000回以上
(1日2人以上)

年500回以上
(1日1人以上)

		行き先（上位7か所のみ）							
		江戸崎	新利根	土浦	美浦阿見	牛久	龍ヶ崎河内	つくば	
自宅	稲波	208	0	24	0	0	0	0	
	江戸崎甲	4,476	576	1,532	1,708	1,797	2,544	334	
	村田	3,509	24	413	310	0	0	643	
	江戸崎乙	206	0	0	667	0	0	12	
	沼田	2,468	0	52	800	376	605	195	
	犬塚	1,805	24	1,628	24	1,584	1,147	103	
	鳩崎	2,270	0	1,961	206	0	24	127	
	信太古渡	107	0	24	48	0	28	0	
	佐倉	992	0	1,100	530	1,286	1,858	0	
	月出里	4,719	0	423	528	2,312	1,014	898	
	蒲ヶ山	4,106	0	282	1,080	438	438	358	
	時崎	962	0	0	0	0	330	0	
	小羽賀	1,918	0	0	282	32	516	0	
	高田	2,274	0	30	430	96	758	24	
	椎塚	1,255	113	4	60	12	30	0	
	桑山	605	826	0	48	0	30	0	
	駒塚	643	0	0	12	16	0	0	
	南ヶ丘	516	206	619	0	0	26	619	
	羽賀	1,578	206	0	310	0	0	0	
	松山	886	36	516	24	0	0	0	
	下君山	230	0	0	0	0	536	0	
	上君山	3,082	254	74	0	72	691	0	
	合計	38,816	2,266	8,682	7,066	8,021	10,574	3,314	
		(江戸崎地区)	12,673	624	3,649	3,509	3,757	4,296	1,288
		(鳩崎地区)	3,370	0	3,085	784	1,286	1,910	127
		(沼里地区)	11,705	0	705	1,890	2,782	2,297	1,255
		(高田地区)	5,293	1,145	653	550	124	844	643
	(君賀地区)	5,776	497	590	334	72	1,227	0	

移動のニーズ (旧小学校区別)

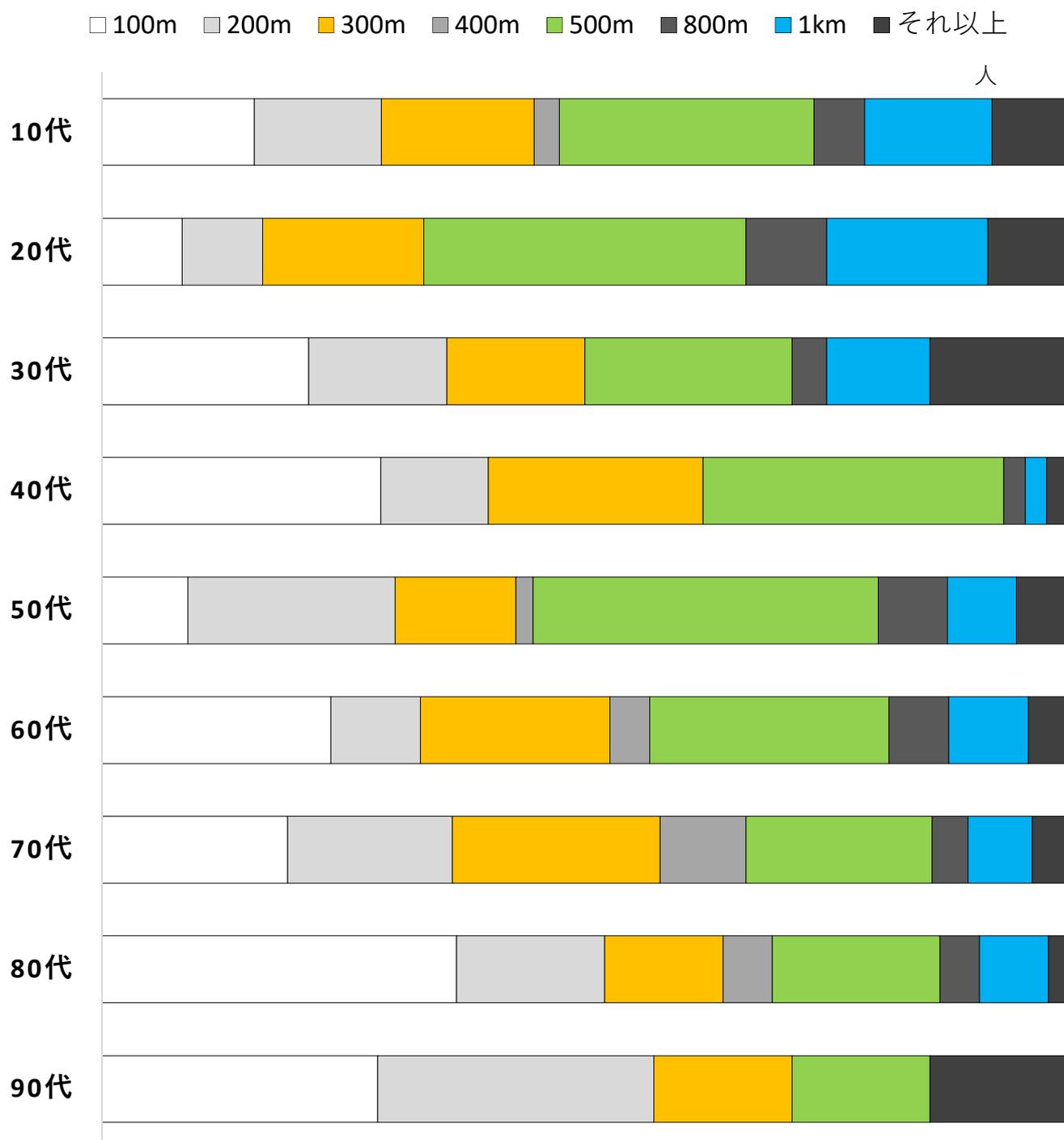


我慢できるバス停の距離

10代（高校生）は「500m」の回答が比較的多くあります。

高齢者は300m以内を希望していることがわかりました。

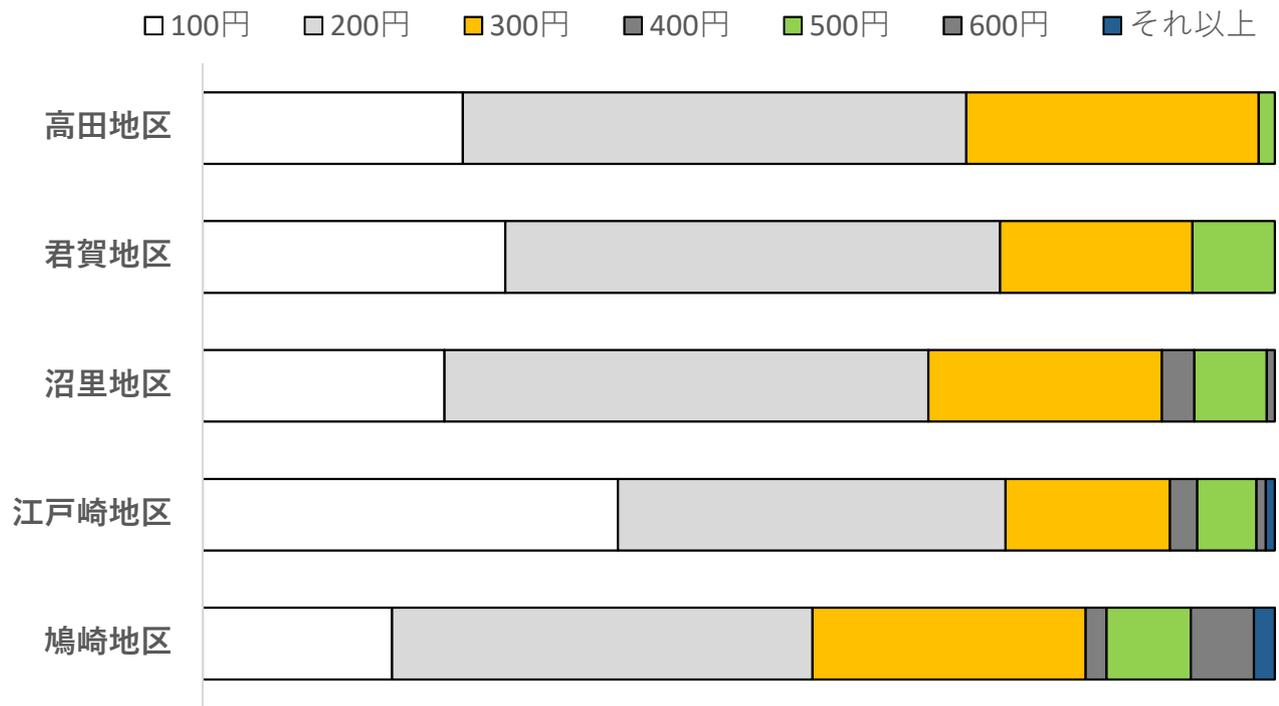
80代以上は、100m～200m以内を希望する人が増え、バス停まで歩くことが、体力的に難しくなる年代だと考えられます。



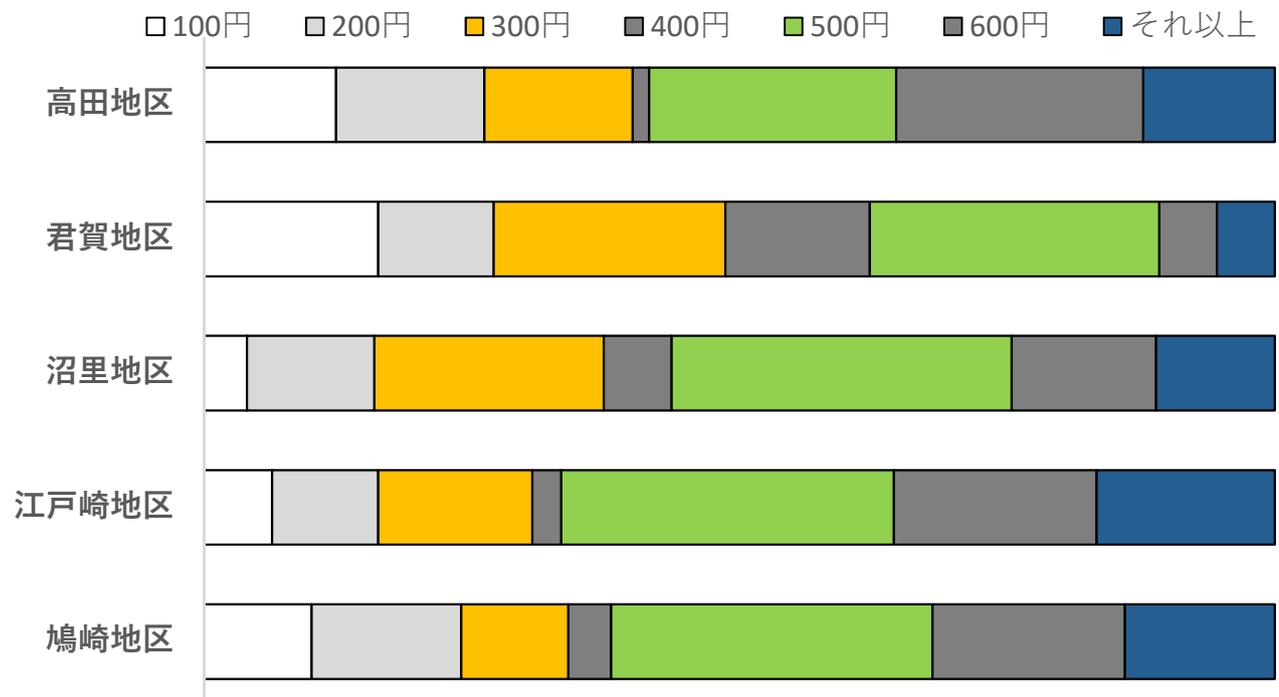
我慢できる運賃

自宅からパンプまでの運賃は「200円」が多い傾向となりました。
自宅から鉄道駅までの運賃は「500円」が多い傾向となりました。
現在の運賃は、江戸崎～土浦駅が850円、江戸崎～ひたち野うしく駅が820円、
江戸崎～竜ヶ崎駅が940円です。

自宅からパンプへ行く場合の運賃

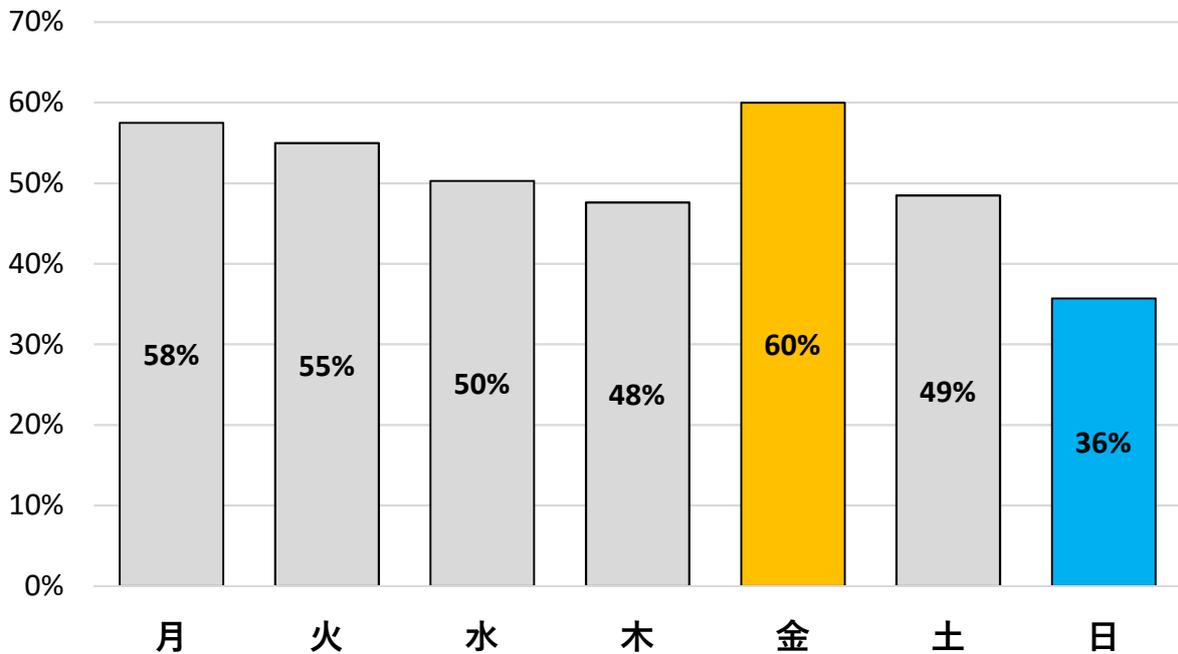


自宅から鉄道駅へ行く場合の運賃



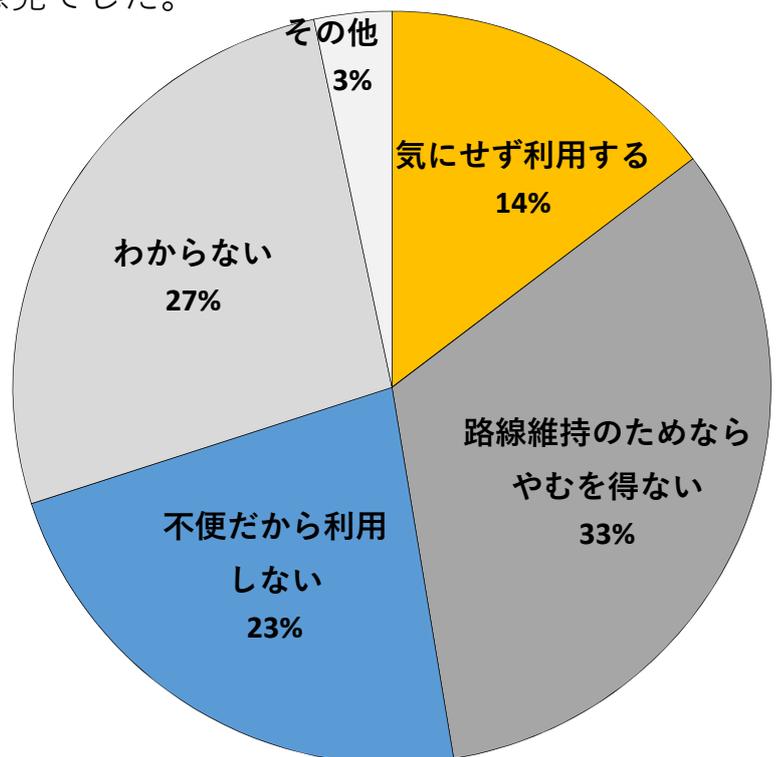
公共交通が必要な曜日

曜日により、ニーズに差があることがわかりました。
金曜日のニーズが高く、日曜日のニーズが低くなっています。
水・木曜日は医療機関が休診のためニーズが少ないと考えられます。



事前予約制 (デマンド運行) について

必要な時に事前予約して利用するデマンド型の公共交通については、賛否両方の意見が同程度ありました。
3割の人はやむを得ないという意見でした。



稲敷市公共交通の今後について

アンケートでいただいた意見を参考に、今後の稲敷市公共交通の目指すべき姿を「稲敷市地域公共交通計画」として取りまとめる予定です。
その後、計画に基づき、路線再編や利用促進施策を実施していきます。
なお、公共交通施策は、「稲敷市地域公共交通活性化協議会」で議論し、決定いたします。

	江戸崎	新利根	桜川	東
H30				アンケート調査
H31 R1			アンケート調査	
R2	バス再編		バス再編	バス再編
	アンケート調査	アンケート調査		コミバス導入
R3	地域公共交通計画（マスタープラン）の作成			
R4 ～	計画に基づくバス路線の再編、利用促進施策の実施			

稲敷市地域公共交通活性化協議会とは

法律に基づき、稲敷市地域公共交通計画の策定をする機関です。

また、コミュニティバス等のルート・ダイヤは、全て協議会で承認を得ることとなっています。

市、県、国、警察などの官公庁、バス会社、タクシー会社のほか、市議、住民代表者など約30名で構成し、それぞれの立場で公共交通の安全面、費用面、利便性について協議しています。